ET研究所 ブログ便り

ET技術を活用して、優良和牛素牛、優良和牛繁殖牛の増産や、乳牛の後継牛確保・改良の研究を行う「JA全農ET研究所（ET研）」。そのET研が発信しているブログから、皆さまに役立つ情報を紹介していきます！

No. 13

FILE

44 研究発表会

JA全農の畜産生産部には、ET研究所のほかに飼料畜産中央研究所、及び家畜衛生研究所という研究所が所属しています。

どちらも牛・豚・鶏を対象とした飼料やワクチン開発などの研究を行っており、ET研ともしばしば共同研究をしながら全農の畜産技術を支えております♪

本日は、全農本所（JAビル）の32階で3研究所による合同研究発表会でした。

感染症予防のための疫学的調査から最先端の遺伝子工学技術まで、家畜生産技術向上のための幅広い研究発表が行われ、たいへん勉強になりましたφ(..〃)

どれも生産者・消費者の皆さまの生活に貢献するための実践的研究であり、全農の持つ技術力の高さに身内ながら感銘を受けました。特に会を通して強く感じたのは、横のつながりの重要性です。

私は普段、北の果てにあるET研にこもって牛の受精卵の事ばかり考えておりますが、こうして動物種や研究分野を越えて情報収集をし、議論することで研究の幅が広がりますし、新しい発想のためのヒントを得る事ができます。

また、専門外の方々に研究を分かりやすく伝え、理解してもらうために、自分の研究の本質や意義について見つめ直す事ができました(‘▽‘)

技術や研究により得た情報は、人に伝えて受け入れてもらう事で初めて意味のあるものなのだと思います。

これからもJA全農職員一同一丸となって、皆さまの生活をより良いものにするための技術開発に邁（まい）進してまいります(≧V≦)ノ

FILE

45 ゲノム

「ゲノム育種」という言葉をご存知でしょうか。

従来の血統情報を利用した育種価予測とは異なり、それぞれの牛が持つDNAの違いを調べる事により、育種価を予測する方法です。

ゲノム育種は、血統による評価と比べて後代を持たない若い世代の評価に特に優れています.*:・。,☆ ˚ ˙・.*:・。,

ET研究所でもこのゲノム育種の技術を用いて評価を行っており、肉質や増体などに優れた牛群の造成を目指しております(‘▽‘)

また形質データがあれば、枝肉形質以外の評価も可能です。

他にも、DNAの違いを調べる事で、ある形質にかかわると考えられる遺伝子の特定などさまざまな事ができます。

この技術を用いて、遺伝的能力に優れた個体を選抜していき、優れた受精卵を供給していけたらと思います！

FILE

46 繁殖義塾実習

全農繁殖義塾にて受精卵生産を学ぶ繁殖技術研修生に、受精卵の品質評価についての講義と実習を行いました。

受精卵生産においては、採卵や移植だけでなく検卵や品質評価といったラボ作業も非常に重要な技術ですp(*^-^*)q

受精卵の入ったシャーレからいかに早く正確に受精卵を見つけるか、そしていかに品質の高い受精卵を見分けるかが受胎性を左右するといっても過言ではありません。

ということで、まずは受精卵の発育コードと品質コードについての講義から。

受精卵の発育・品質コードは、国際胚移植学会（IETS）によって公式に定められております。

胚盤胞であれば発育コード「6」、高品質胚であれば品質コード「1」、2つを合わせて「6－1」というように、受精卵の状態は全てこの2つのコードで表されます。

みんな真剣に学んでいます。
座学で学んだ後は、検卵室に移動して受精卵を見ながら発育・品質コードを判定してもらいました。

全問正解者から帰れる(´-__-`;)というイジワル（!?）にも負けず、飲み込みの早さに頼もしさを感じました★

これからたくさん練習を積んで、人工授精や移植といった現場作業だけでなく、「検卵のプロ」になってくださいね(≧V≦)ノ

FILE

47 ルーキーデビュー!!

4月に開始した全農繁殖義塾の繁殖技術研修生ですが、この半年間で目覚ましい成長を遂げております！

研修生は採卵を行う供卵牛チーム、移植を行う受卵牛チーム、農家採卵や職員による農家での移植に同行する義塾チームの3チームに分かれて研修を行うのですが、既にチームのローテーションも行い、幅広い技術を身につけております(*^-^*)

8人の研修生のうち人工授精師（AI師）の資格を持っていた4人は次のステップとなる受精卵移動師（ET師）の講習会を終え、持っていなかった4人は見事に全員がAI師の資格を取得しました。

そしてついに、新たにAI師の資格を取得したルーキーたちが人工授精デビューしております。
写真は今年の春に高校を卒業してすぐに研修を開始したKくん♪

技術の習得が早くセンスがあると評判の彼は、後ろでカメラを構える私のプレッシャーにも負けず、あっという間に授精を終えていました。

腰を振る暴れウシだったのですが、本当に上手く対応していました。

日々前向きに腕を磨く研修生たちの成長ぶりは本当にたくましい(￣^￣)

もうすぐET師の講習会を受けた4人の結果も出る予定ですので、更なるルーキーたちの活躍に期待したいですね★

ET研の「いま」が分かる「全農ET研ブログ」はコチラ ▶▶ http://etken-blog.lekumo.biz/et/
※編集の都合上、ブログと表記や写真等が異なる場合がございます